

教科名	農業科	科目名	農業と情報	対象学年	1 学年	履 修	必須
対象学科	全学科	コース		単位数	2 単位	時 数	70
目 標 (生徒につけ たい力等)	・情報社会における情報モラルについて理解するとともに身につけるようにする。 ・タッチタイピング(ワープロ検定 3 級程度)、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの基本操作を習得する。 ・基本的なプログラミングの入力と活用方法を学ぶ。 ・インターネットを利用した情報収集とその活用方法について学ぶ。						

学 期	時数(時間)	学 習 項 目(何を学ぶのか)	学 習 内 容(どのように学ぶのか)
1 学期	4	情報化社会の概要と情報モラル、セキュリティ処理技術について理解する	高度情報化社会のしくみと、進展にともなう影響についての理解 情報社会のモラルを守る心構えと安全への対応の理解
	10	ワープロソフトの基本的な操作および技術	ワープロソフト(ワード)の操作方法 文書デザインの構成と作成方法 ワープロ検定4～2級程度を受験
	6	表計算ソフト(エクセル)を利用した基本的な操作	表計算ソフトの入力方法 表計算ソフトの計算方法
2 学期	9	表計算ソフトを利用した情報処理技術	基本的な関数(SUM・AVERAGE・MIN・MAX 等)の理解 グラフ(折れ線・棒・積重・円・レーダーチャート等)の作成方法
	12	Web ページの基本的作成方法	Web ページの基本的作成方法の理解 Web ページを作成して情報発信の体験をする
	7	プログラミングの基本的な技術	プログラミン言語の知識と理解 Web プログラミングの基本的操作と理解
3 学期	10	プログラミングの基礎的な利用法と応用	JavaScript でのプログラム作成と技術を学ぶ JavaScript で Web ページの中身を作成する
	6	プレゼンテーションソフトの基本的知識、技術	プレゼンテーションソフトの基本的知識と操作および技術を学ぶ
	6	プレゼンテーションの実施	プレゼンテーションソフトを活用し、プレゼンテーションの実施
教科書/ 副教材	教科書「農業と情報」(実教出版) 副教材「日本語ワープロ模擬題集」(日本情報処理検定協会)		
関連科目	「農業と環境」		
評価の 観 点	知識・技術	インターネットの社会的問題点を十分理解でき行動できたか パソコン機器およびソフトの操作、プログラミングなど情報処理が適切にできたか	
	思考・判断・表現	農業情報処理に関する課題を発見し、合理的、創造的に解決する事ができたか 適切に各ソフトを利用して判断・表現ができたか	
	主体的に学習に取り組む態度	情報処理技術について基礎的知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業および地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むことができたか	
評価の 観 点 ・ 方 法	評価方法		主体的に学習に取り組む態度
	座学(学習観察, 発言, 話し合い等)		○
	実験・実習(行動観察, 技能)		○
	テスト等		○
	レポート・ノート・課題等		○
	自己評価		○
	その他( )		
評価割合(%)		70	20 10
留意事項	出欠状況や課題の提出と内容、職員の指示の遵守の状況、また、ワープロ検定受験級の可否についても評価に加えます。		
備考			

教科名	農業	科目名	情報活用	対象学年	3学年	履修	選択
対象学科	全学科	コース	全コース	単位数	2単位	時数	70
目標 (生徒につけたい力等)	情報関係における資格検定試験3級程度の実力をつけ、実務に直結した複合的ソフト利用やICT(情報通信技術)社会とビジネスに関する知識、情報モラルや情報セキュリティについて学ぶ。						

学 期	時数(時間)	学 習 項 目(何を学ぶのか)	学 習 内 容(どのように学ぶのか)			
1学期	20	・情報化社会の発展、情報モラル、情報セキュリティ ・ワープロソフトを用いた文書処理技術 ・表計算ソフトを用いた表計算処理技術、グラフ・表・図の提示	・情報化社会の概要と情報モラル、情報セキュリティについて学ぶ。 ・ワープロソフトの入力・編集技術を学び、高度な文書作成技術を習得する。 ・基本的関数および応用的関数を学び、必要な処理を関数で表現する力をつける。適切なグラフ・表・図の作成加工技術と文書中の正しい提示方法を学ぶ。			
2学期	28	・プレゼンテーションソフトの基本的な操作、スライド作成技術、発表 ・HTML 言語と、JavaScript 言語による Web ページ作成	・プレゼンテーションソフトの基本操作と各種機能による効果的なスライド作成について学ぶ。 ・発表機器の接続および発表技法について学ぶ。 ・HTML 言語の基礎と CSS による Web ページ作成および JavaScript 言語による Web ページの動的処理を学ぶ。			
3学期	22	・情報収集から発信まで課題に沿って実際に作成する。	・課題発表会を行う。			
教科書/ 副教材	教科書:農業情報処理(実教出版) 30 時間でマスターWord,Excel,Power Point2016(実教出版)					
関連科目	課題研究					
評価の 観 点	知識・技術	実技・学科、資格取得を通して課題を見つけ、課題を解決することができたか。				
	思考・判断・表現	課題およびデータの提出がなされているか。 実技試験や資格取得において処理能力を示せたか。				
	主体的に学習に取り組む態度	意欲を持って学習活動に取り組むことができたか。				
評価の 観 点 ・ 方 法	評価方法		知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	座学(学習観察, 発言, 話し合い等)		○	○	○	
	実験・実習(行動観察, 技能)		○		○	
	テスト等(パフォーマンステストを含む)		○	○	○	
	レポート・ノート・課題等		○	○	○	
	自己評価			○	○	
評価割合(%)		60	20	20		
留意事項						
備考						

教科名	農業	科目名	職業ライセンス	対象学年	3学年	履修	選択
対象学科	全学科	コース	全コース	単位数	2単位	時数	70
目標 (生徒につけたい力等)	1. 職業に関する資格を取得し、職業人としての知識と技術を身に着ける。 2. 各種資格取得を通し自己の職業選択の可能性を広げ、能動的に取り組む態度を身に着ける。						

学 期	時数(時間)	学 習 項 目(何を学ぶのか)	学 習 内 容(どのように学ぶのか)		
1学期	20	・危険物取扱者試験合格を目指し学習に取り組む ・ビジネス文書作成	・危険物取扱者試験テキストを使用した学習 「物理と化学の基礎知識」、「危険物の性質」 「火災予防および消火の方法」について学ぶ。 ・ビジネス文書などの基本的スタイルを利用し、図表を素早く正確に作成する技術を学ぶ。		
2学期	28	・ワープロ検定合格を目指し学習に取り組む。 ・表計算検定合格を目指し学習に取り組む。	・ワープロ検定合格に向けた文書処理技術の学習 ・表計算検定合格に向けた表計算処理技術の学習		
3学期	22	・電卓検定合格を目指し学習に取り組む。 ・基礎的な簿記検定合格を目指した学習に取り組む。 ・文書作成に関わる基本的な知識技能の取得に取り組む。	・社会で活用できる文書処理技術、電卓操作方法を学習 ・簿記の基礎的な役割と仕組み。基礎的な簿記会計の知識と能力。 ・各種ビジネス文書作成、ペン字練習、Eメールの作成・送信。		
教科書/ 副教材	乙4類 危険物取扱者 受験教科書(向学院)				
関連科目	なし				
評価の 観 点	知識・技術	授業で学んだことをどの程度理解できたか。			
	思考・判断・表現	情報処理実習において、自分が何を不得どう変わることができたか。 与えられて課題を解決できる能力と態度が身についたか。			
	主体的に学習に取り組む態度	意欲をもって学習活動に取り組むことができたか。			
評価の 観 点 ・ 方 法	評価方法		知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	座学(学習観察, 発言, 話し合い等)		○	○	○
	実験・実習(行動観察, 技能)		○		○
	テスト等(パフォーマンステストを含む)		○	○	○
	レポート・ノート・課題等		○	○	○
	自己評価			○	○
評価割合(%)		60	20	20	
留意事項					
備考					

教科名	農業	科目名	農業情勢	対象学年	3学年	履修	選択
対象学科	全学科	コース		単位数	2単位	時数	70
目標 (生徒につけたい力等)	・世界と日本の食糧事情や農業政策および農業に関する新技術や研究の動向など農業情勢全般に関する正しい知識を身につけ、農業問題を取り巻く諸問題を考え、改善を図る能力と態度を養う。 ・農業関連の上級学校への進学における、基本的知識の習得を目指す。						

学 期	時数(時間)	学 習 項 目(何を学ぶのか)	学 習 内 容(どのように学ぶのか)		
1学期	20	・日本および世界と農業の歴史および政策 ・日本の農業政策・食糧事情。 ・長野県及び安曇野の農業情勢を学研究的の動向を調査し、 ・論理的な文書作成	農業に関する基礎的な専門用語を理解する ・世界の食糧事情 ・日本の農業政策・食糧事情 ・長野県及び安曇野の農業情勢 ・パラグラフ・ライティング、アウトラインの作成、序論・本論・結論		
2学期	28	・現在の農業の役割 ・日本の農業の諸問題について ・現代の農業の新技術、新ビジネス	・現在の農業の役割を食料・環境の面から考える。 ・日本の農業問題について原因を分析し、問題解決に向けた方策を学ぶ。 ・農業に関する新技術や特徴的な取り組みの有用性と課題を学習する。		
3学期	22	・農業政策・食料政策と関連法規について理解する。	・農業政策・食糧政策と関連法規を学習する。 ・農業食料農村の問題からテーマを決めて、プレゼンテーションを行う。		
教科書/ 副教材	『農業・食料・農村白書』(農林水産省)、各種統計資料、農業関連資料、その他				
関連科目	農業経済、農業経営				
評価の 観 点	知識・技術	農業問題に関する正しい知識を理解し論理的に表現できたか。			
	思考・判断・表現	自ら農業・食料・農村に関する課題を見つけ、解決しようとする態度が身についたか。			
	主体的に学習に取り組む態度	意欲をもって学習活動に取り組むことができたか。 一定レベル以上の課題レポートの提出がなされているか。			
評価の 観 点 ・ 方 法	評価方法		知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	座学(学習観察, 発言, 話し合い等)		○	○	○
	実験・実習(行動観察, 技能)		○		○
	テスト等(パフォーマンステストを含む)		○	○	○
	レポート・ノート・課題等		○	○	○
	自己評価			○	○
評価割合(%)		60	20	20	
留意事項					
備考					